

秋田県書道連盟会報

第 132 号

秋 田 県 書 道 連 盟

事務局

秋田市泉菅野一丁目18-1

三浦 湯 舟 彦

発行人 長 沼 雅 彦

編集 広 報 部

(題字: 長 沼 雅 彦)

<http://www2.tbb.t-com.ne.jp/aki-shodorenmei/>

本年もよろしくおねがいします

秋田県書道連盟理事長 長 沼 雅 彦



令和七年の新年が明けた。おめでとうございます。今年も会員の皆さんにとって良い年でありますように祈ります。

今冬は天候も順調で特別の障害もなく無事に第十六回秋田県新春書初め席書大会を終えることが出来た。昨年はコロナ禍後、初めての席書で大きく参加人数を減らし、その対策に苦慮してきた。原因はおおよそ推測できた。コロナ禍を交えた三年のブランクはともかく、日本一厳しい県内の少子化傾向、書道教室指導者の高齢化による教室閉鎖のうわさもまた聞かれるところである。やはり時代は変化している。

厳しい状況下、魁新報事業部の皆さんを交えて対策会議をし、本会会員に状況を説明し、危機感をもって大会に臨んだことであった。その結果参加人数は380人。昨年度の人数を越え、なんとか下げ止まりを制したかたちになった。

その結果、例年のように県内の各文芸、伝統芸

道、芸術、武道のトップの先生方のご協力の下、充実した内容で実施することが出来た。

続いて二十六日は新年研修会、新年会が行われた。研修会は本会会員の秋田大学医学部整形外科講師の齊藤英知先生による講演である。本会会員で小学校時代の担任吉井雅子先生、高校の書道の小松紫峯先生も前にして、ご専門の膝関節疾患を中心、会員が気をつけるべき健康の一般についての内容であった。

なにしろ毎週手術を終えた後で私の書道教室に何げなくかよってこられて、研鑽を重ねておられるエネルギーあふれる先生である。研究、教育、診療、の忙しい合間をぬっての書研修。将来は明治の医師で書家、地方の三筆と呼ばれた秋田の赤星藍城のひそみにならって、現代の赤星藍城と呼ばれる存在になっていただきたい。ついでとては何ですが、本会会員の健康にもご配慮を。

秋には本会ホームページが完成した。以前のホームページは前IT部長相原恵花さんの個人の力に全部甘えて全面的に負担をかけていたが、この度は業者を入れて、作り直したものである。その経費は安くはないが、総会で説明したように、長い目でみれば相応の額だといえよう。広報部にその管理をまかせて、業者の説明によって、内容の入れ替えなどをこちから出来るようにしてある。会員の皆さんもホームページを使って何か発

信したいことがあれば、広報部に連絡していただきたい。

九月十五日は佐々木久春詩集出版を記念して「詩と書のコラボレーション」として展覧会とシンポジウムを開催した。佐々木氏の詩は書初め大会時に会員に書いていただいた作品をあてた。十六回を重ねているので、それなりの数も蓄積されており、力作がそろい見ごたえがあった。シンポジウムでは書者に一人ひとり作品について語っていただいて、参加者に書とその題材の関係についての多様性を感じていただいた。あきた文学資料館の会議室満員になる参加者には多くの本会会員が含まれておりご協力に感謝している。

さてここまで書いて与えられた紙幅が尽きた。例年通り開催された、総会、実技研修会、連盟展、筆供養、小品展等、諸活動について本紙あるいはホームページによってご覧いただきたい。



新年研修会にてあいさつをする理事長

第16回秋田県新春書初め席書大会

主催

秋田魁新報社
秋田県総合公社
秋田県書道連盟

大会

令和7年1月12日(日)
会場 秋田県立武道館

展覧会期

令和7年1月30日(木)～2月2日(日)
午前10時～午後5時(初日は正午
から、最終日は午後4時まで)
さきがけホール

展覧会場

「書初めを通じて伝統文化の再認識を図り、書道文化の振興並びに書写・書道教育の充実に寄与すること」を目的に、毎年開催されています。

参加者380人。幼児・小学生、高校生、大学生、一般の4部門。

弓道と居合道の演武や、茶道と華道の実演もあり、日本文化に触れる絶好の機会となっています。ご提供いただいた俳句や短歌等を同連盟会員が書で表現した「書と文芸のコラボ」、能代松陽高校と秋田西高校の書道部による書道パフォーマンスも行われました。

大会写真



司会の上野泰夫さん、アシスタントの吉井優花子さん・小野桜さん



オープニング ステータス・ダンススタジオの皆さん



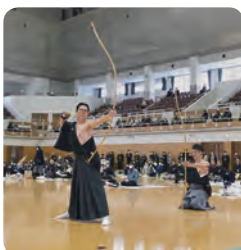
作品を学年毎に提出



見事な出来栄に驚きです



秋田西高校書道部によるパフォーマンス



新春武道演武
秋田県弓道連盟



秋田県華道連盟 こどもたちによる生け花のデモンストレーション



新春武道演武 秋田県剣道連盟



席書大会 みんなで写真撮影



太鼓の音で席書スタート



能代松陽高校書道部パフォーマンスを終えて

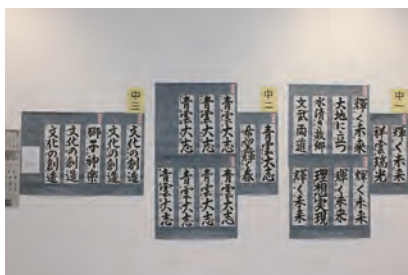


薄茶席 秋田商業高校茶道部もお手伝い

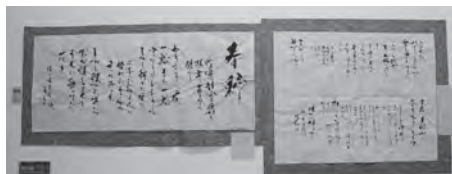
審査風景 写真



展覧会 写真



展覧会 写真



2月2日(日)、さがけホールにて授賞式が行われました。特別賞、推薦の26人、3団体が表彰されました。



第9回新春小品書展



「本展は拘束のない独自の発展を重んじ会員相互の親睦と本県書道文化の向上に寄与すること」を目的に、毎年開催されています。今年は78点の出品がありました。

会場
さきがけホール

主催
秋田県書道連盟

会期
令和7年1月30日(木)～
2月2日(日)

午前10時～午後5時
(初日は正午から、最終日は午後4時まで)



第87回秋田書道展覧会

※写真は秋田魁新報社提供

主催 秋田魁新報社

会期 令和6年10月26日(土) ～ 10月30日(水)

午前10時～午後5時

会場 アトリオン

小学生から一般まで腕を振るう、県内最大規模の公募展です。審査主査の石飛博光さんと県内書家が審査し、入賞348点、入選165点が決まりました。

本連盟会員の魁星賞、一般一科(推薦、特選、秀作まで)を紹介します。おめでとうございます。

▼魁星賞

魁星賞 恵比原琇琴「載復古句」



「激励が力になつて」

恵比原 琇琴



今回の作品も、学生の頃から臨書している明清時代の行草書を土台にしたものです。県立高校の芸術科書道教員ですので、教材研究やスキルアップの為の研究會参加や公

募展出品を継続するものの、限られた制作時間は、線質の錬磨と構成の工夫にとどまり、完成度には納得できない出品になる日々でした。

そのような中、受賞の新聞記事のおかげで、家族や書仲間だけでなく、職場の同僚、中学時代の恩師、学生時代の部活動仲間、さらには県内の家族が教えてくれたという県外にいる教え子達からも、お祝いや激励の言葉をいただき、受賞の喜び以上に感激しました。

さまざまな書に関心を持つてもらい、素晴らしいや楽しさを発信していったらという思いが強くなっているところです。

はからずも魁星賞という栄誉ある賞をいただくことができ、喜びと身の引き締まる思いです。また、理解し支えてくださる方々への感謝を忘れず、今できることに精一杯取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

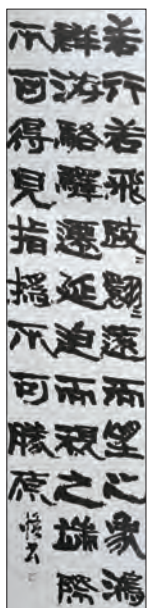


一般一科

【自運漢字】

▼推薦

道川屋 悟(秋田市)



▼特選

津島 一美(由利本荘市)
佐藤 穎(潟上市)

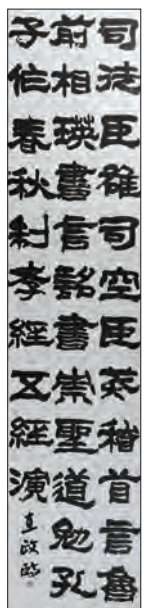
▼秀作

佐藤 珠苑(北秋田市)
古田 柯香(秋田市)
東海林 龍文(秋田市)
千葉 園泉(大仙市)
齊藤 英知(秋田市)
筒井 敏秋(秋田市)

【臨書漢字】

▼推薦

川田 直政(秋田市)





▼**推薦**
酒井 佇泉 (仙北市)

【調和体 (近代詩文)】

▼**秀作**
石川 抱鶴 (秋田市)

▼**特選**
竹内 美穂 (にかほ市)

【大字書】

▼**特選**
鈴木 昭子 (横手市)

【自運かな】

堀井 智香子 (秋田市)

成田 昌子 (男鹿市)

櫻庭 明峯 (潟上市)

小玉 豊光 (五城目町)

古田 柯香 (秋田市)

▼**秀作**
佐藤 桂葉 (秋田市)

▼**特選**

田村 芳汀 (秋田市)



▼**推薦**
熊谷 貞子 (由利本荘市)

【篆刻・刻字】

佐々木 幸子 (由利本荘市)

▼**秀作**
堀井 直子 (由利本荘市)

熊谷 貞子 (由利本荘市)

石川 抱鶴 (秋田市)

▼**特選**

遠藤 芙美子 (由利本荘市)

畑中 裕子 (由利本荘市)



第1会場

一般一科 (自運漢字、臨書漢字、調和体、篆刻、刻字)、小・中学生半紙、賛助、招待、無鑑査

第3会場

高校生条幅・一般二科
(自運漢字、臨書漢字)



第2会場

(小学生条幅・八つ切り
り・硬筆・中学生条幅)



第4会場

一般一科 (自運かな、
臨書かな、大字書)、
一般二科 (自運かな、
臨書かな、調和体)



第11回日本美術展覧会

主催 公益社団法人 日展

日展は、明治40年から続き116回を数える美術展。日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5部門があります。本連盟会員から佐藤穎さんが入選しました。おめでとうございます。

「日展初入選の報を受け」

佐藤 穎



第11回日展を最後と決心しての出品でした。折帖出品で扇面仕上げと考へ、見開き50cmを一面とし、6面に決定。詩文は随分前から温めていた南宋の詩人陸游。唐婉の釵頭鳳と決め、120字の割付けを考へ、南宋の詩人徐三庚の篆書を資料と字典で調べ、一字捜し当てては安堵し、長い道程を感じ、暑さに閉口し、誤字がないか確認しつつ時間切れの出品でした。あー終わったと安堵したのを覚えております。

発表の日を勘違いし、速達が届きびっくり。恐る恐る開封。驚きで手が震え、胸がどきどきするのを感しました。外出中の夫が戻り、喜んでくれたのが何よりでした。筆をゆつくり、自分らしく持ち続け、振り返ると50年近く経っており、継続の大切さが身にしみました。

温かく見守り、ご指導を賜った師に、そして何かと励まして下さった書友に心から感謝を致し、お礼を申し上げます。有難うございました。これからも平常心で励みたいと思います。宜しくお願い申し上げます。



実技研修会

日時 令和6年10月6日 (日)
13:30~16:30

会場 協働大町ビル

日程 13:30 - 14:00 受付
14:00 - 14:10 開会式
14:15 - 16:15 実技 (休憩時間含む)
16:20 - 16:30 閉会式
17:30 - 懇親会

講師と研修内容



和気あいあいです。



皆さんが体験できる
よう準備万端です。



墨色の説明をしています。

【漢字部門Ⅱ】 講師.. 藤原 瑛翠 先生
「大字を書く」
あまり大字書を書かない方も、楽しく参加していたのが印象的。用具用材についても勉強になりました。



皆さんが書いた半紙を並べ、アドバイスをいただきました。



隷書の筆法を熱心
に見つめています。



篆書の多様な線質を見
せてくれました。

【漢字部門Ⅰ】 講師.. 長沼 雅彦 先生
「篆、隷を習う」
篆隷の基本運筆から創作まで、長沼先生の揮毫を間近で見ることができる貴重な時間でした。



牛欄造像記の「妙楽」の臨書。



スクリーンに映し出
しています。



北魏の楷書の特徴を理解し
臨書しています。

【書道史部門】 講師.. 竹村 天祐 先生
「はじめての書道史入門」
高校の教科書を教材に、定番の古典を臨書し、スクリンに映して説明をしていました。



繊細な線質を出すため集中。



楽しくも熱心に会
話をしながら学び
ました。



折帖など雅な机上作品を見
せてくれました。

【仮名部門】 講師.. 小松 紫峯 先生
「うまく書けるコツ」
小松先生がお持ちになった机上作品も拝見でき、仮名の美しさに触れることができました。

新年研修会

日時

令和7年1月26日(日)
午後2時～午後3時15分

会場

ホテルメトロポリタン秋田

講師

齊藤 英知先生

演題

生涯書家であり続けるために
～その傾向と対策～

寿命と歩行能力の関係、歩行するための膝、身体を支える骨、書道家の痛みの傾向アンケート結果と対策、という項目に分けて、詳細かつ分かりやすくお話されました。

歩行能力は寿命や健康寿命と密接に関係していること、筋力トレーニングや食生活で膝や骨を強くすること、そして事前アンケートをもとに、開眼片脚立ち、スクワット、トレーニングプラス、腰痛体操・膝痛体操といったお家でできる対策方法を提示してくれました。

生涯に渡り筆を持つためには、歩行能力や骨の強度を維持し、何より健康に生きるために積極的な身体のケアが必要であることが分かり、大変勉強になりました。

会員の皆様は、骨に効果的だという豆乳を買って帰ったと思いますが、「調整」ではなく「無調整」豆乳が効果的とのこと。購入の際はお気を付けください。



秋田大学大学院
整形外科医学部講師
齊藤英知先生



佐川会長あいさつ



長沼理事長あいさつ



和やかな懇親会



竹村研修部長あいさつ



後藤副理事長あいさつ



これまでの主な展覧会 (連盟会員所属団体)

第50回秋田県秀作美術展
(R7.3.6～9 秋田県立美術館)



第47回瀾の会書展
(R7.1.17～19 アトリオン)



第42回秋田墨滴窓友会書道展
(R6.11.1～3 花火伝統文化継承資料館 はなび・アム)



第12回書遊会展
(R7.3.7～10 五城目町 五城館)



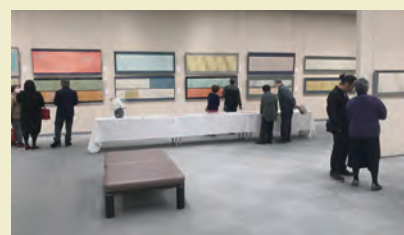
第64回全県新年書きぞめ展
(R7.3.1～3 秋田県立美術館)



第19回耿墨会
(R6.11.9～10 横手交流センター Y²プラザ)



第23回日本書学研究会秋田一先会書展
(R6.11.9～11 アトリオン)



第20回記念毎日書道秋田新春展
(R7.1.10～13 アトリオン)



那 墨痕あどやか 波

あなたの筆勢を伝える筆。
「書」の心をうつす墨、紙。

那波紙店

〒010-0921

秋田市大町四丁目3-35

☎ 018-823-4311 (代)



美術表装一式

掛軸、和額、屏風、襖

中山表具店

〒011-0917 秋田市飯島道東二丁目4番10号

TEL 018 (846) 8496



株式会社

塚田美術印刷

取締役会長 塚田 高
代表取締役社長 塚田 大樹

本社工場 / 〒010-0921 秋田市大町一丁目6番6号

TEL 018 (823) 5551 (代)

会 員 募 集

日頃から本会の運営につきましては、格別のご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

本会は、より多くの書道を愛好する皆様に活躍と研修の場、作品発表の場、会員相互の情報交換の場などとしていただくため活動しております。

会員は随時募集しておりますので、事務局までお問い合わせ下さい。

事務局 秋田市泉菅野一丁目18-1

三 浦 湯 舟

ホームページ <https://akita-shoren.jp>

今後開催予定の主な展覧会

第32回瀾の会小品展

令和7年4月11日(金) ～ 13日(日)
アトリオン

第56回六葉會書展

令和7年4月18日(金) ～ 21日(月)
アトリオン

第38回秋田一東書道会

令和7年5月16日(金) ～ 18日(日)
アトリオン

総務部・広報部に届いている展覧会を掲載しております。ご了承願います。

ご協力のお願い

本連盟HPがリニューアルいたしました。それに伴いお願いです。今まで「連盟会員の展覧会」の写真を広報部で撮影していましたが、連盟会員ではないお客様が映ると、プライバシーの問題もあり、今の時代宜しくありません。主催者が一枚ベストショットを撮影し、広報部へデータを送って下さいますよう、ご協力の程、宜しくお願いいたします。

編集後記

「おひたし」という言葉ご存じでしょうか？かつては組織を円滑に運営するため、「ほうれんそう」が重んじられてきましたが、それに変わって、今は「おひたし」が主流だそうです。「怒らない。否定しない。助ける。指示する。」なるほど。考え深いものがあります。自分より年下の方には、「おひたし」を大切に接していこうと思う今日この頃です。

多くの分野で、人手不足、特に若者がいないと口をそろえて言うようになりました。では、どうしたら良くなるのでしょうか。前向きに明るい未来を思い描き、語り、実現に向けて無理のない範囲でできることをしていけたら、何かが変わる気がしてなりません。

この2年間、広報部にあたたかい言葉を掛けてくれた全ての皆様、原稿依頼に対し快く引き受けてくれた全ての皆様に感謝申し上げます。(広報部一同)

総合書道用品販売

- ◎展覧会・企画・展示
- ◎〈表具〉〈額装〉〈軸装〉
- ◎各種展覧会搬入搬出承ります
- ◎文房四宝・低価格にて提供しております

株式会社 **くらや**

〒010-0952 秋田市山王新町4-5
TEL 018-863-6001 FAX 018-863-6004
ホームページアドレス <http://kuraya-shodou.com>
メールアドレス kuraya@seagreen.ocn.ne.jp

秋田県唯一の
月刊教育書道誌



～おかげ様で創刊72周年～

書 友 社

〒010-0954 秋田市山王沼田町11-11
TEL 018-862-3484 FAX 018-862-3485
MAIL shoyusha-akita@outlook.jp

